



旧吉松家住宅のひな飾り



旧吉松家住宅でのひな人形の飾り付けの様子 (2022年2月撮影)

3月3日。女の子の健やかな成長と健康を祝う春のお祭り、「ひな祭り」。この日にひな人形を飾ったり、ちらし寿司やケーキなどごちそうを食べたりしてお祝いするご家庭も多いのではないのでしょうか。

歴史は古く、「桃の節句」(3月3日は旧暦で桃の花が咲く時期なので桃の節句といわれます)の起源は中国にあり、川や海でケガレを祓う習慣が日本に伝わり、人形で身体を撫でて川に流す行事へと変わり、この人形を着飾って遊ぶ「ひいなあそび」へと発展してきます。平安時代の文学作品、『源氏物語』に「ひいなあそび」が登場し、この「ひいな」がひな人形の語源であると考えられています。その後、明治時代に

「内裏雛／お内裏様」男びなを向かって右に配すること。金の屏風やぼんぼり、白酒を飾り、段全体に緋毛氈を敷き、華やかさを演出するとともに、魔除けを意味します。



最上段

三段目

五段目

七段目

二段目

四段目

六段目

かご、重箱、御所車(牛車)などを並べます。

婚礼道具のたんす、鏡台、長持、針箱、茶の湯道具、火鉢など、日常に使う道具が並びます。

ひな祭りは、女の子の健やかな成長と健康を祝う、形を変えながらも今日まで続いてきた日本の伝統的なお祭りです。美しい日本家屋を彩るひな人形たちと桃の節句をお祝いしませんか?ぜひ旧吉松家住宅へお越しください。

参考文献

日本玩具博物館「雛遊びの世界」(2023年1月30日閲覧)



生涯学習課文化係
55-11163

ベレジコフ・タチアナ2019「近代日本における「雛祭り」の再生・国民行事への道程」問合論集13、pp.49-68



- 串間市立図書館 ☎ 72-1177
- 開館=午前10時～午後6時
- 休館日=毎週月曜日
- HP = <https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

- 家康の血筋 (近衛 龍春／著)
- 風を紡ぐ (あさの あつこ／著)
- 銀座に住むのはまだ早い (小野寺 史宜／著)
- 猫にならって (佐川 光晴／著)
- 荒地の家族 (佐藤 厚志／著)
- 大江戸奇巖城 (芦辺 拓／著)
- 固結び (山本 一力／著)
- 川崎警察下流域 (香納 諒一／著)

「よき時を思う」



90歳の記念に祖母が計画した、家族のための豪華絢爛な夕食会。そこに秘められた16歳の日の出会いと別れの記憶…。孫の綾乃は祖母の生涯をたどり、語られずにきた苦難と情熱を知る。『すばる』連載を単行本化。

「放課後の読書クラブ」



木の物語、犬の物語…。著者自身のその後の進路や生き方に、大きな影響を与えた本をテーマ別に紹介する。『若草物語』『人間失格』からアイデアを思いつき書かれた短編2編も収録する。『Kaisei Web』連載を加筆し書籍化。

「断捨離」特集



春から新しい生活を始める人にとって、この時期は断捨離をする絶好の機会。そんな予定はない、という方も新しい年度に向けて気分転換にいかがでしょう。何から手を付けていいかわからない、という方はぜひ参考にしてください。

お知らせ

「春のおはなし会」

絵本の読み聞かせや手遊びなど、楽しい時間を過ごしましょう。

● 日時= 3月25日(土) 午後2時～午後3時

SDGsの中身を見てみよう その4

SDGs [Sustainable Development Goals] (持続可能な開発目標)の中身について今回も紹介していきます。

8. 働きがいも経済成長も

世界には働きたいと思っているけれど仕事がない失業者が約2.1億人いるといわれています。そして、仕事があっても5人に1人は十分な収入を得ることができず、貧困から抜け出せずにいます。労働時間や労働条件が厳しい環境で働かなくてはいけない人も少なくありません。

働きがいがあり、十分な収入が得られる仕事をディーセント・ワークといいます。貧富の差が拡大しているといわれる現在、地球のすべての人が幸せに暮らすために、ディーセント・ワークをいかに実現できるのか、考えなくてはなりません。

私たちの普段の暮らしにおいて考えてみると、働き方改革やブラック企業、過労死という言葉を目にすることがあると思います。

長時間働くことがよいことという考えがある日本では、低い収入で長時間働く、上司や社長の命令に逆らえないというブラック企業、働きすぎによる過労死が社会の問題として存在しています。そこで現在、取り上げられているのが働き方改革です。仕事とプライベートの両方が充実したバランスのよい人生を送るにはどんな働き方がよいか、家庭の中で話し合ってみましょう。

9. 産業と技術革新の基礎をつくろう

みんなが幸せで豊かに暮らしていく世界をつくるには、さまざまな産業が発展していくことが必要です。そのためには、大量生産・大量消費の社会を変えて、限り

【問い合わせ先】
総合政策課企画係 ☎ 55-1152

ある資源をうまく活用する持続可能な仕組みをつくっていかなくてはなりません。

これには新しい技術を生み出すイノベーション(技術革新)が欠かせません。また、産業を支えていくにはインフラが必要不可欠です。インフラは道路や鉄道、上下水道などのほか、インターネットのような情報通信も産業を支える重要なインフラです。このようなインフラが破壊されると、産業の発展が阻害されることはもちろん、普段の生活も大きな影響を受けます。また、途上国ではまだまだインフラが整っていない国や地域が多くあります。このような地域では技術革新が難しく、産業の発展が滞りがちです。

これらの対策として、破壊に強い強靱なインフラを世界で導入していくことが、産業と技術革新の基礎をつくることに必要不可欠な要素なのです。